

ダイバーシティ推進委員会企画記事 「子育てパパ会計士の日常」第8回 夫婦会議を始めてみた(後編)

ダイバーシティ推進委員会 副委員長 竹中 陽介

前回は引き続き、今回も夫婦会議のお話です。皆様は夫婦会議、もしくは家族会議ってされたことがありますでしょうか？例えば家や車を買うときや、子供の進路について等、家族における重要なトピックについては、家族間で話し合われることも多いでしょう。しかし、例えば家族の将来のビジョンのようなふわっとした話や、家事の具体的な分担等の細やかな話を夫婦間、もしくは家族

間で会議をされたことがある方は少ないように思います。

前回の記事でもご紹介しましたLogista株式会社（以下、「同社」といいます）は、より良い未来のために夫婦間で対話を重ねることが重要、と「夫婦会議」の重要性を提唱されています。

夫婦会議がどのようなものかは前回の記事で触れましたので、今回は

同社より発行されている、夫婦会議をスムーズに行うためのツールである「世帯経営ノート」を用いて実際に夫婦会議を体験してみました。今回は、世帯経営ノートに記載の10テーマの中から「自由時間」というテーマを選び夫婦会議を行いましたので、同ノートの内容に沿って、会議の結果について簡単にご紹介したいと思います。



【「自由時間」に対する価値観チェック】

Q1. あなたにとって「自由時間」とは？

私	妻
一人で自分の好きなことをする時間、もしくは子供のことを気にせず夫婦で自由に出かけられる時間	一人で自分の好きなことをする時間

Q2. 「自由時間が欲しい」と感じるのはどんなとき？

私	妻
仕事が忙しいとき。 週末に家庭の用事や子供のイベントが重なり、自分のやりたいことができないとき。	常に。 いつも家庭でやるのがたくさんあり、仮に一人の時間があっても普段できない家事に充てている。

Q3. 丸一日「自由時間」があったらどこで、誰と、何をしたい？

私	妻
夫婦二人で映画や食事に出かけたい。	一人で撮り溜めたビデオ・映画を見たい。 喫茶店で読書をしたい。

【Step 1 「今どうなっている？」】

私	妻
一人の時間は、通勤時間や家族が寝静まった後など割と取れている。 妻と二人の時間はしばらく取れていない。	まだ自由時間は取れていないが、子供が小さかった頃よりはだいぶまし。 以前は子供を寝かしつけるまでのタイムリミットの中、2倍速で動いていた。 今は以前できなかった細やかな家事ができていての満足感はある。

【Step 2 「理想の状態は？」】

共通
家族みんなが平等に自由時間を持つことが理想。 妻に負担が偏っているため、家族間でやるべきことを共有し、家族全員で分担する必要がある。（小3の息子はだいぶ戦力になってきたため、幼稚園年長の娘がもう少し大きくなれば実現可能か）

【Step 3 「さて、どうする？」】

共通
<ul style="list-style-type: none"> ・家事を中心にやるべきことを洗い出し、それぞれ家族間で分担する。 ・作業の段取りや優先順位も意識し、不要な作業をやっていないか点検する。 ・日々やる作業と週末にやる作業とを分ける。 ・対応する時間を決める（週末のこの時間はみんなで家のことをやる、とか）。 ・大きすぎる変化を求めず、少しずつ変えていく。

いかがでしたでしょうか。私は普段からある程度一人の時間が確保できているため、現状にもほちほち満足しており、できれば夫婦の時間も取れればと思っている一方、妻は一人の自由な時間が取れていないため、まずは時間を確保したいと思っていますことがわかりました。

また、妻は基本的にまじめでサボることが苦手ですので、やるべきことが終わるまでは自由時間を取らないタイプですが、私は隙あらばサボるタイプ（笑）ですので、よほど仕事が忙しい場合を除き、普段から適

当に時間を確保しております。

このように、自由時間を確保できるかどうかは、実際に時間があるかどうかだけでなく、個人の性格にも大きく左右されることに今回初めて気づきました。これは、夫婦会議という今回の場を設けなければお互いなかなか気付かなかったことですし、これぞ夫婦会議の真骨頂なのかもしれませんね。

最後に、夫婦会議を行う際の注意点ですが、お互い忙しく限られた時間だからこそ「時間厳守」で行い、

話すテーマを明確にし、相手の話を最後まで聞き、相手を決して否定せず、反対意見を言うときはちゃんと理由を伝えることが大事だと思います。

なんとか前回の冒頭コメントを回収できたところで、今回は筆を置かせて頂きたいと思います。本稿をお読みいただき、うちもぜひ一度夫婦会議や家族会議をやってみたい！と思う方がいらっしやれば幸いです。

(参考サイト) ・Logista株式会社HP
<https://www.logista.jp/>

記事をお読みいただきましたご感想や企画記事のご提案等、何でも結構ですので、コメントをお待ちしております。コメントはこちらから

